

みらかホールディングス株式会社
2018年度（2019年3月期）
決算説明会資料

2019年 5月 14日

※ 本資料では、記載している部分を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 本資料では、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

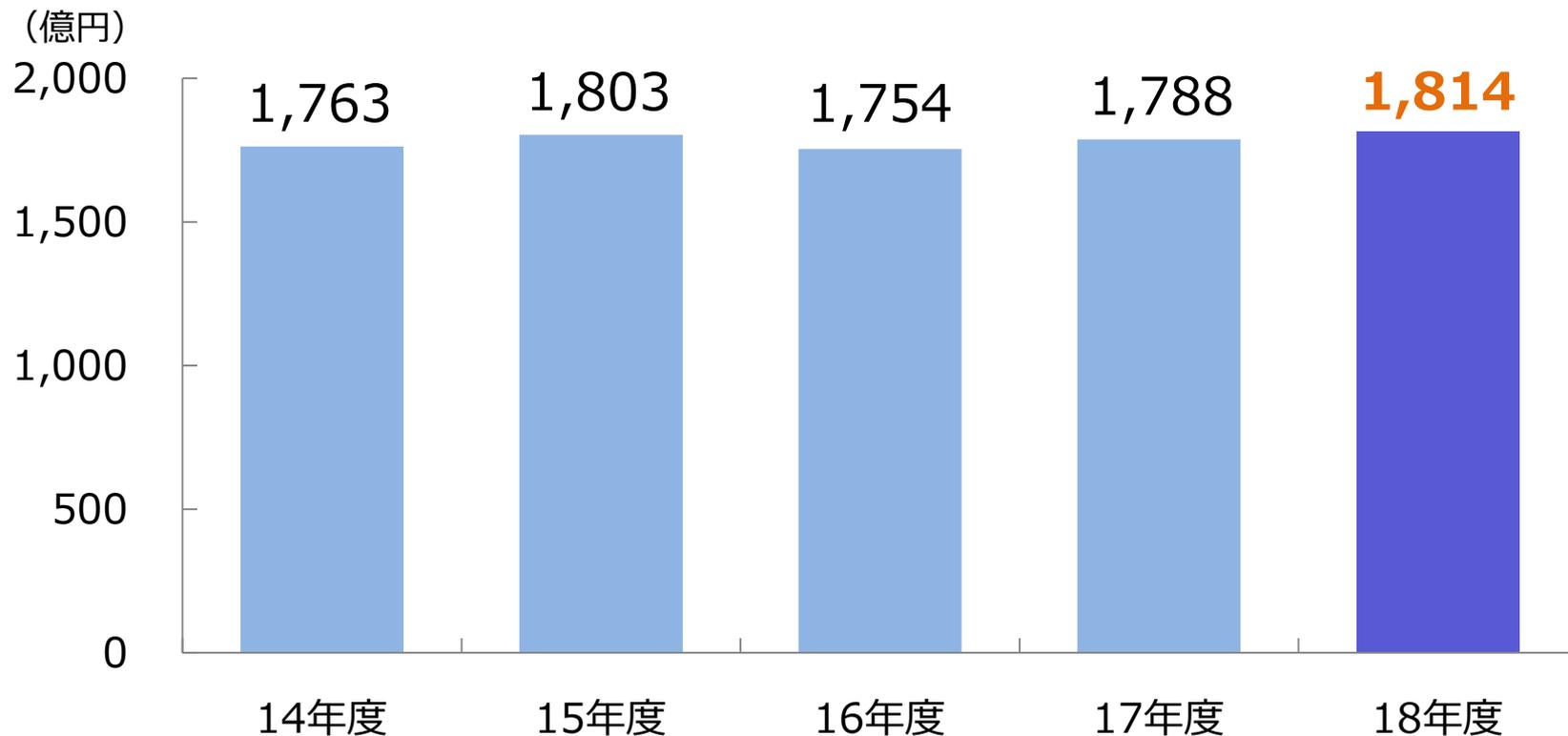
※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT : 受託臨床検査事業 IVD : 臨床検査薬事業 HR : ヘルスケア関連事業
SR : 滅菌関連事業 ENB : 新規育成事業及びその他

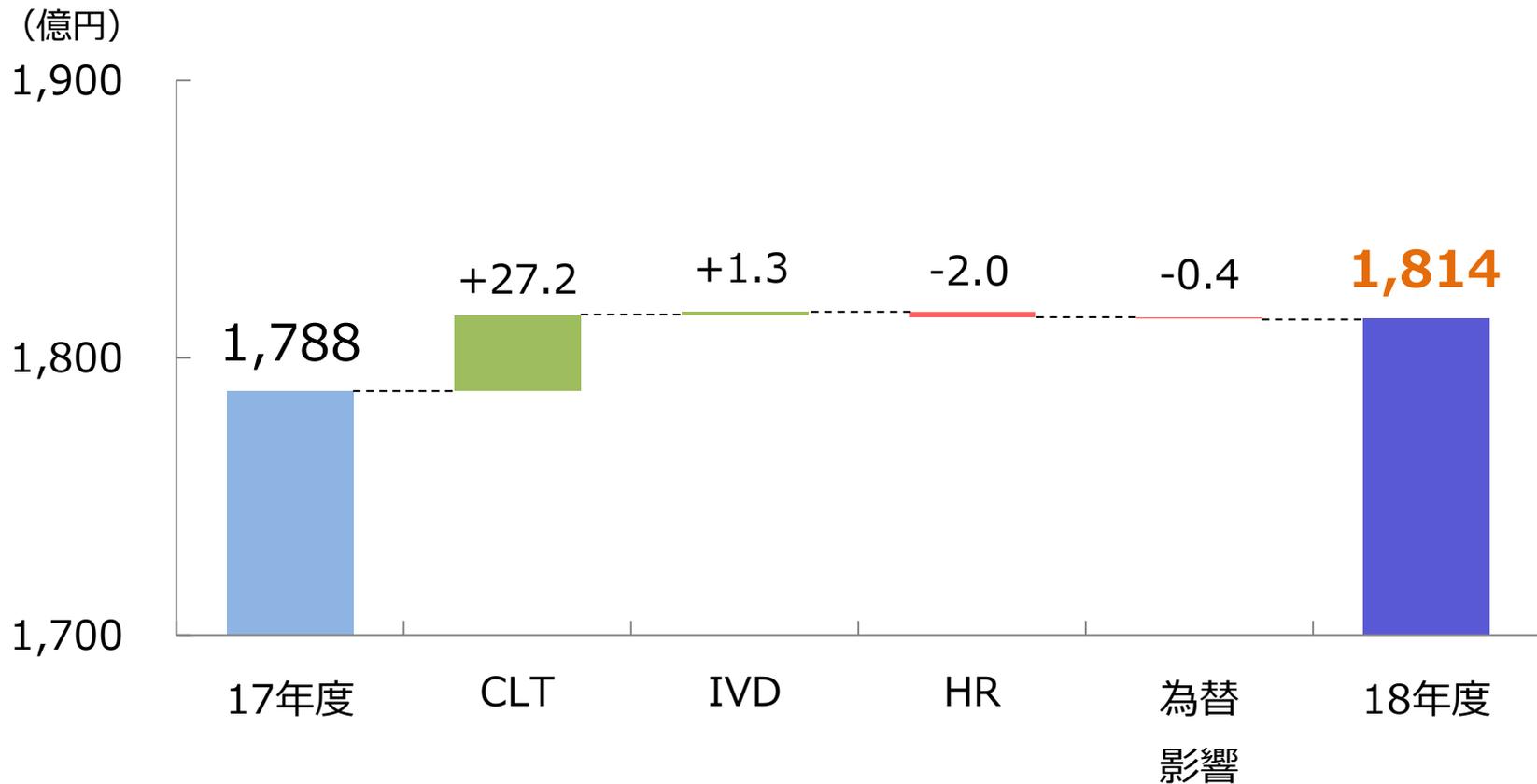
※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2017年度	: 1USD = 110.88 JPY	1EURO = 129.70 JPY
2018年度	: 1USD = 110.92 JPY	1EURO = 128.41 JPY
2019年度計画	: 1USD = 110.00 JPY	1EURO = 127.00 JPY

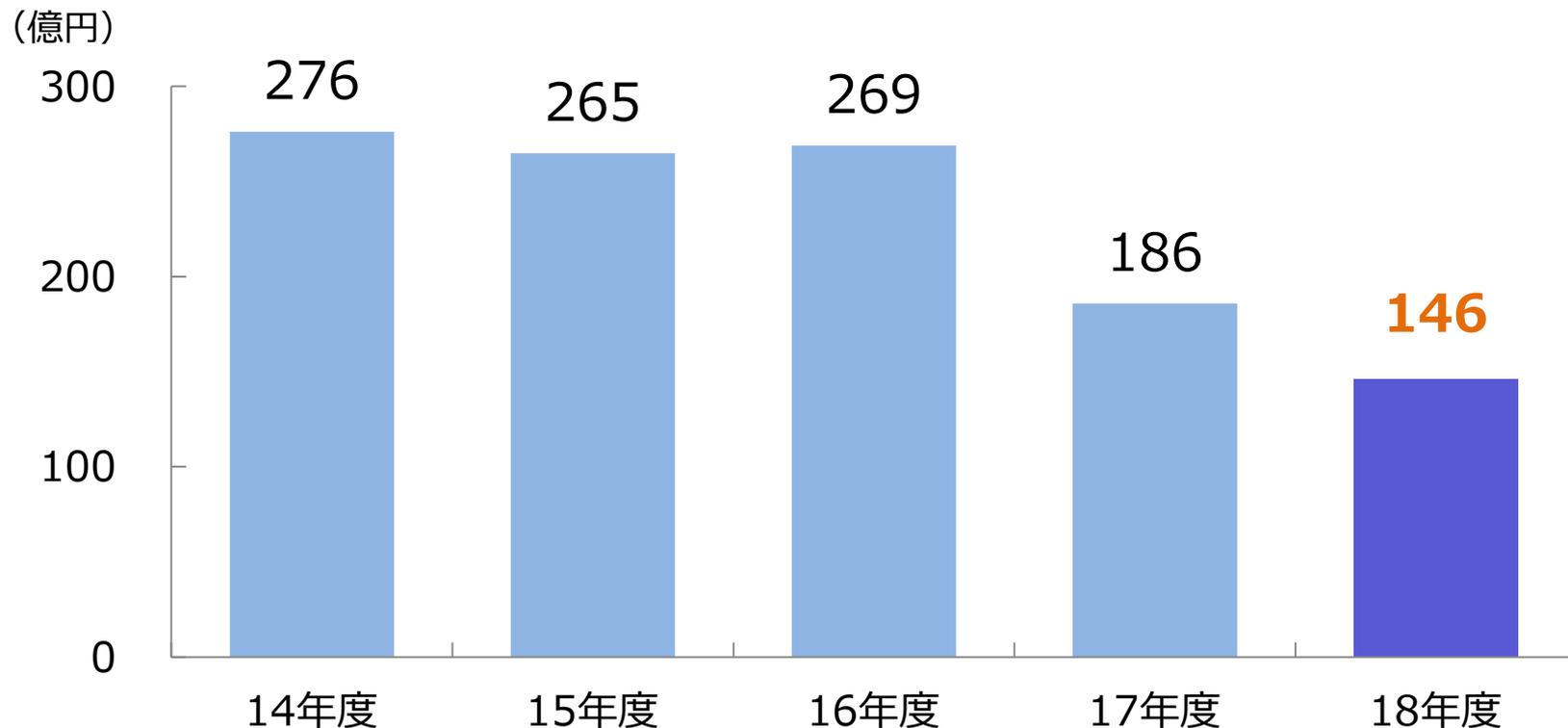
連結売上高 推移 (海外CLTを除く)



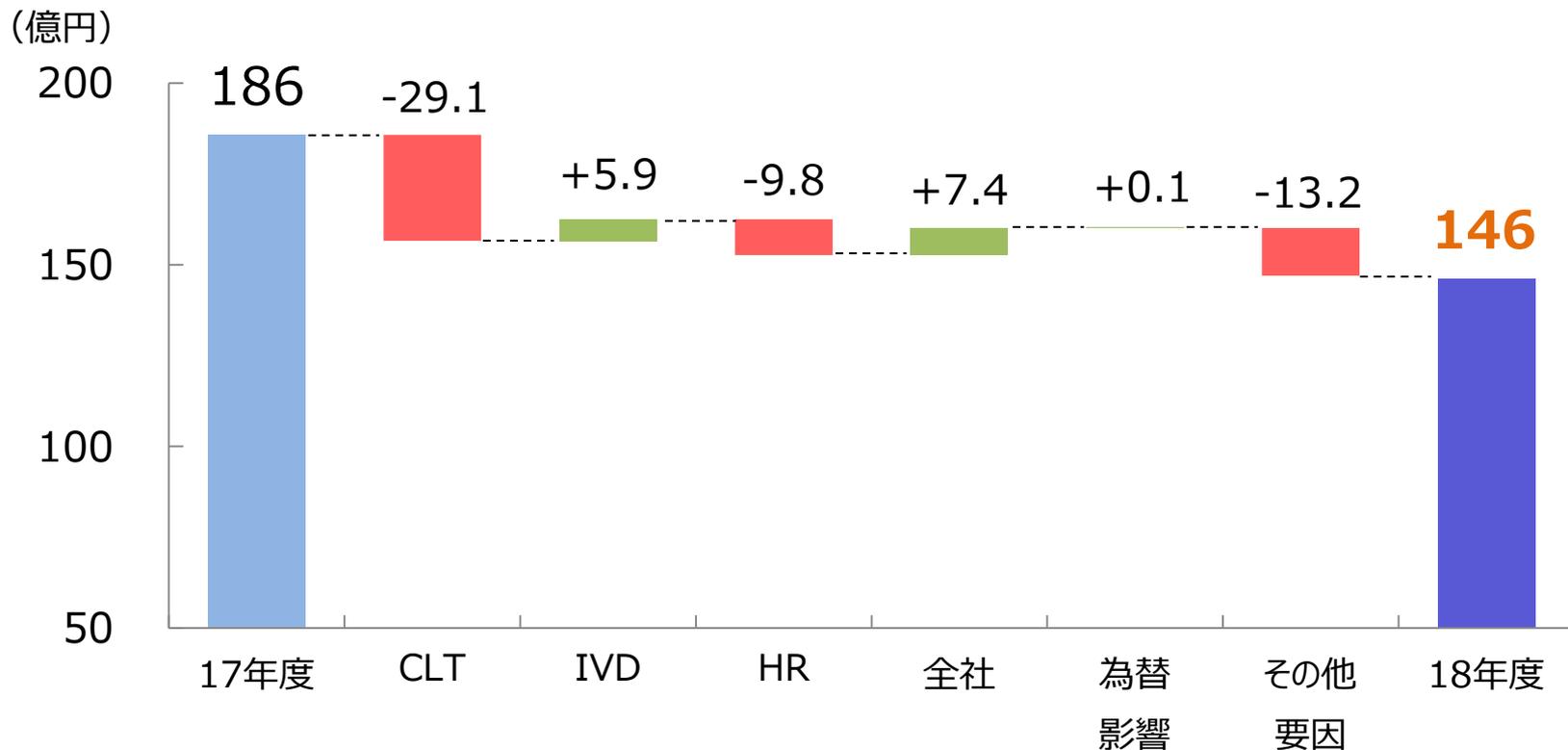
連結売上高 対前年同期比較 (海外CLTを除く)



連結営業利益 推移 (海外CLTを除く)

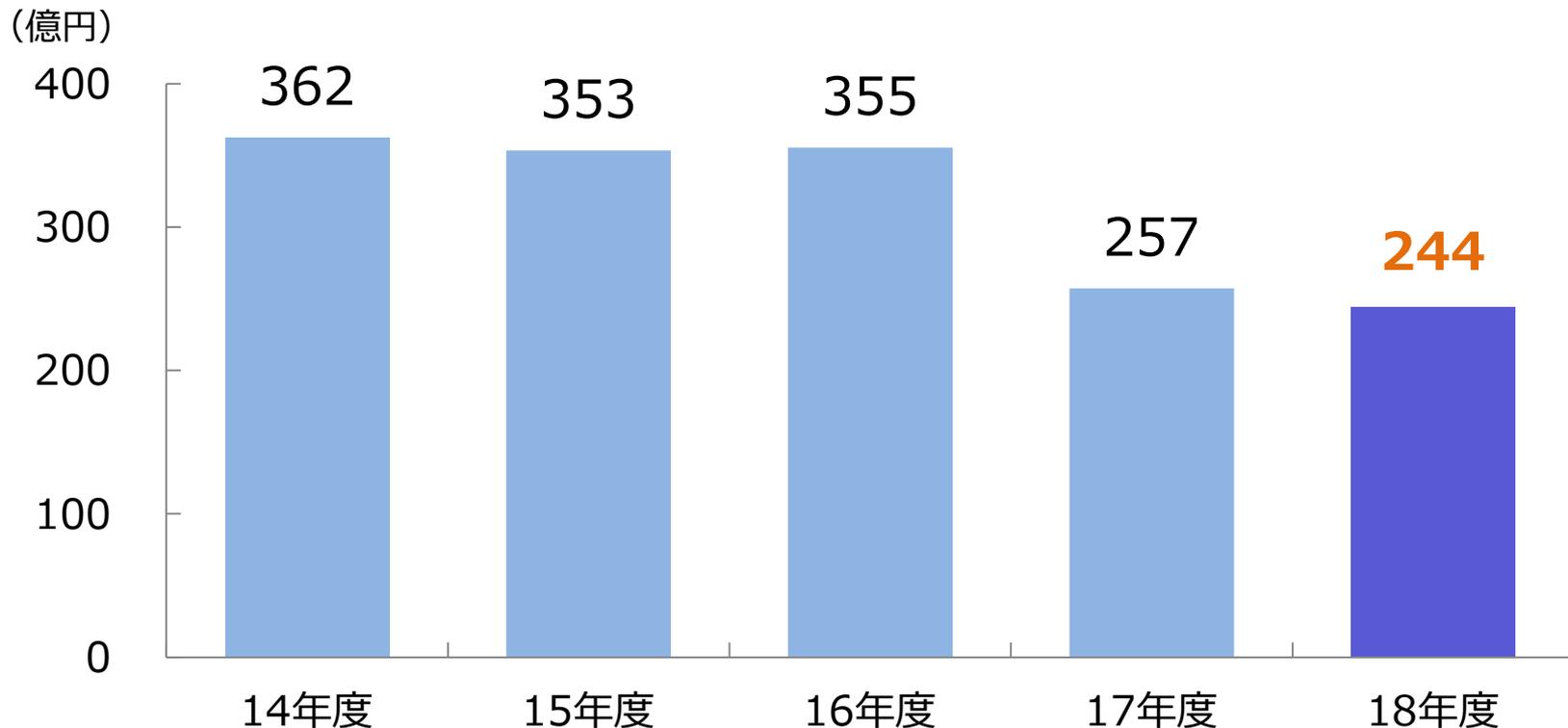


連結営業利益 対前年同期比較 (海外CLTを除く)



その他要因：施設環境改善、業務効率化、コンサルティング費用等
13.2億円（1Q：9.3億円、2Q：3.9億円）

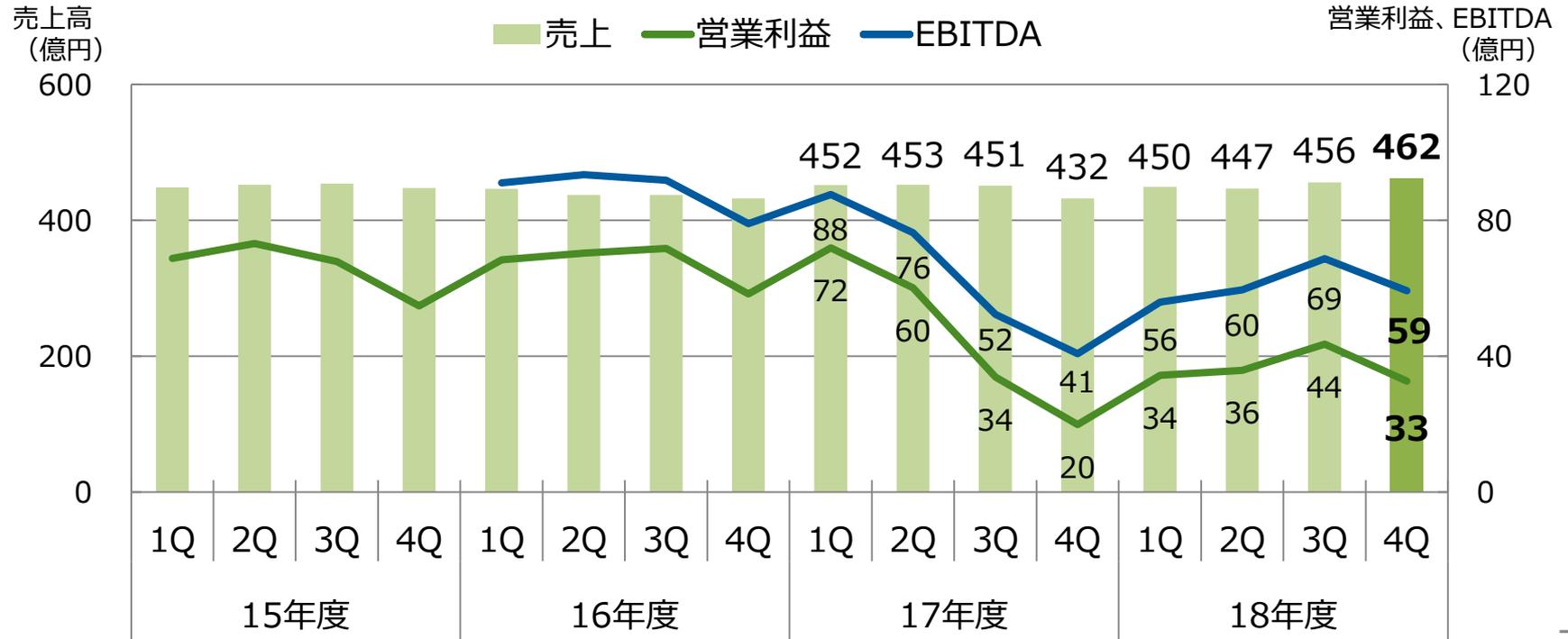
EBITDAの推移 (海外CLTを除く)



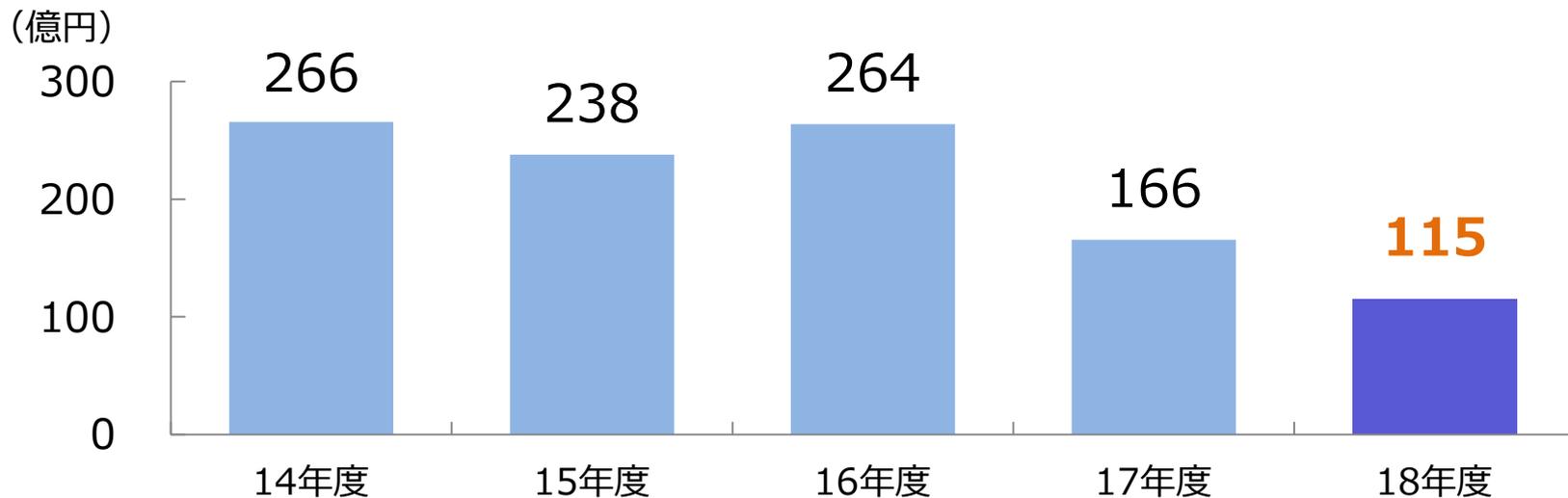
※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

四半期毎の業績推移（海外CLTを除く）

- 通期及び四半期売上高は過去最高を記録
- 対前年同期比で増収増益



連結経常利益 推移



主な営業外損失

【2017年度】

- 持分法による投資損失

▲11億円

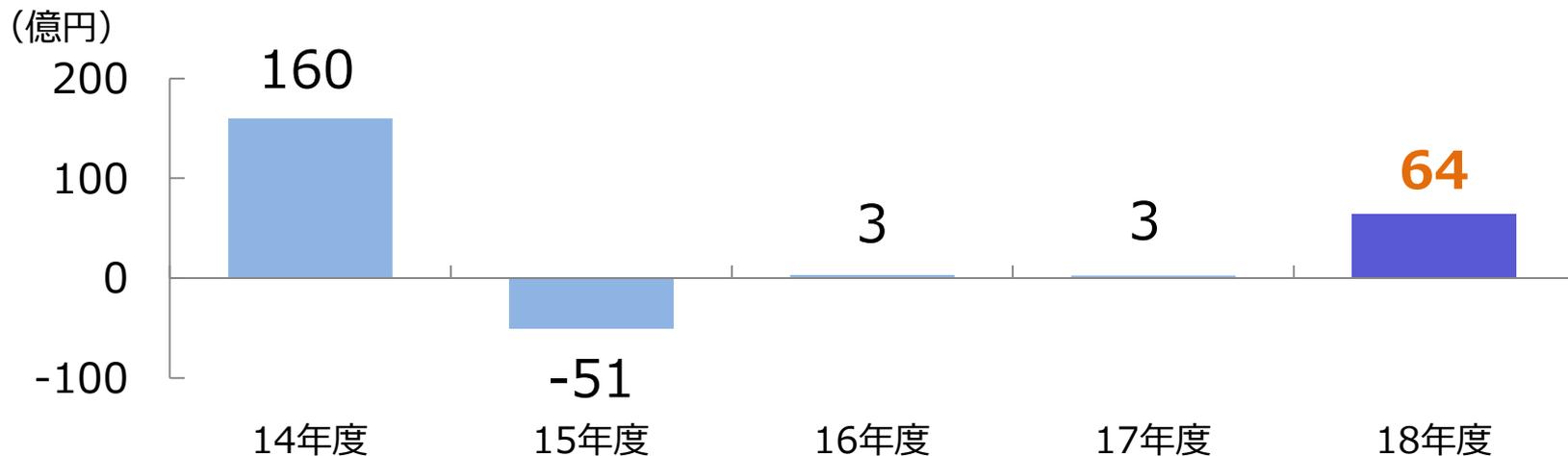
【2018年度】

- 持分法による投資損失

▲35億円

(BMGLの公正価値と簿価の差額分の損失を含む)

連結当期純利益 推移



主な特別損益、税金関係等

【2017年度】

- 為替換算調整勘定取崩益 +275億円
- CDxHD売却にかかる損失等 ▲408億円
- 事業構造改善費用(希望退職関連) ▲26億円
- 補償損失引当金繰入額 ▲67億円
- 法人税等調整額 +90億円

【2018年度】

- 法人税等調整額(繰延税金資産の取崩等) ▲34億円

対前年同期比一覧 (17年度は海外CLTを含む)

	17年度	18年度	対前年同期増減	
売上高	1,954	1,814	-139.9	-7.2%
営業利益	※1 176 9.0%	※1 146 8.1%	-30.5	-17.0%
経常利益	166 8.5%	115 6.4%	-50.4	-30.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3 0.1%	64 3.5%	+61.3	-
EBITDA ※2	273 14.0%	244 13.4%	-29.3	-10.8%
ROE	0.2%	5.7%	+5.5%	-
ROIC ※3	7.2%	6.3%	-1.0%	-

(億円)

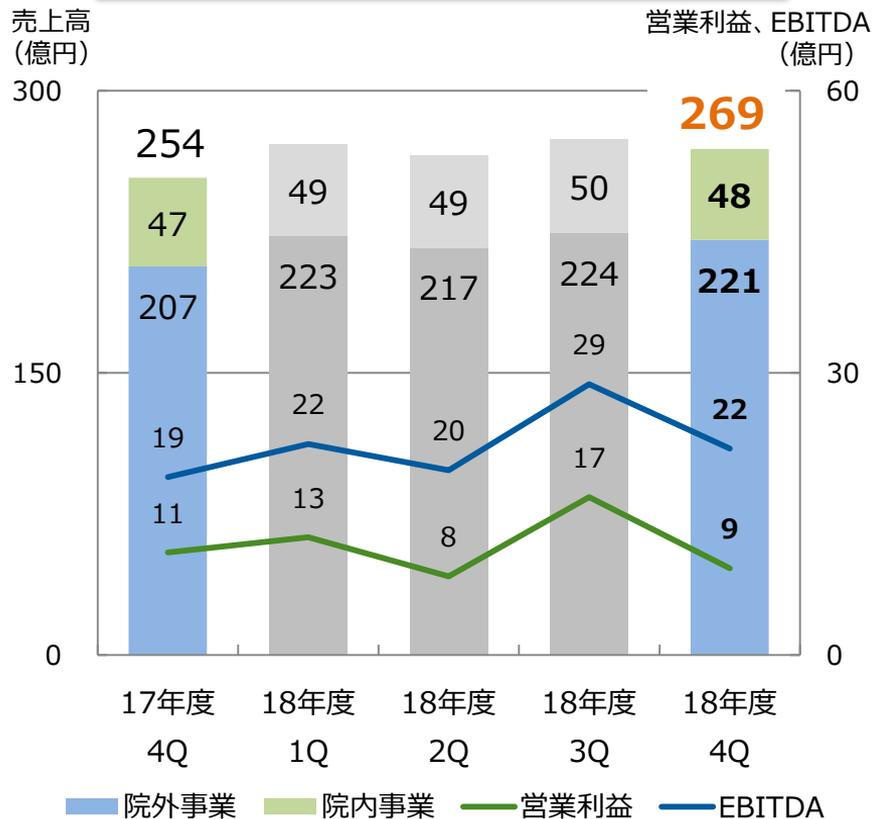
※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む(17年度：▲21.5億、18年度：▲14.8億円)

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 ROIC = NOPAT (営業利益-みなし法人税) / 投下資本【(純資産+有利子負債(リース債務含む)+その他の固定負債)の期首・期末残高の平均】

※4 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	17年度	18年度	対前年同期増減	
売上高	1,054	1,081	+27.2	+2.6%
院内	191	196	+5.7	+3.0%
院外	863	885	+21.5	+2.5%
営業利益	84	46	-37.5	-44.4%

業務量は伸長

- テスト数 : +10.3%
- 開業医及び健診の獲得が寄与

価格下落

- ▲3.5%

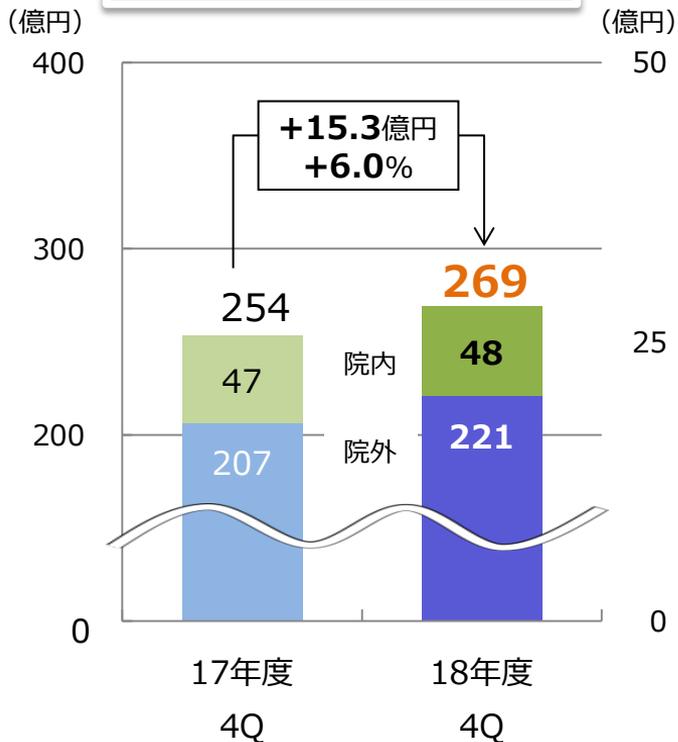
SRL従業員^{※1}

- 5,090人 (2018年9月末)
→4,955人 (2019年3月末)

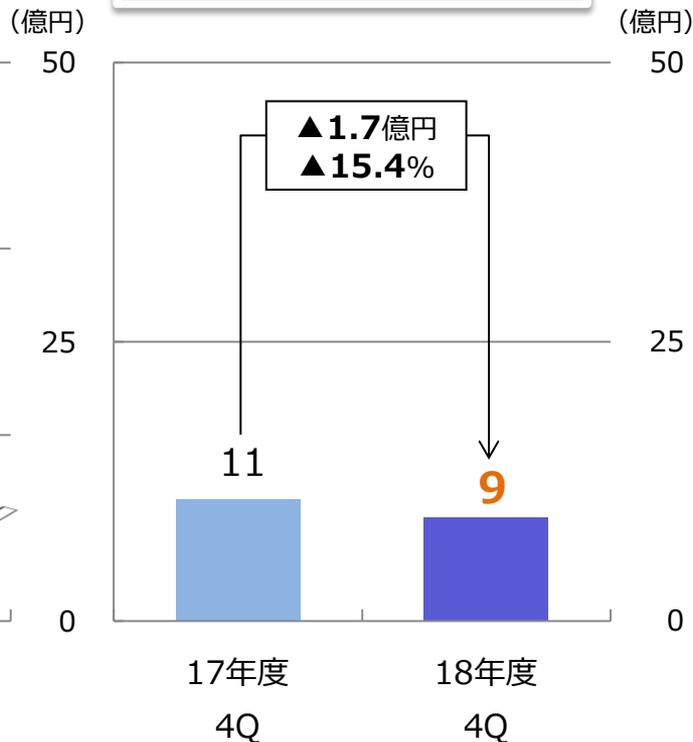
※1 臨時雇用者含む

CLT事業 4Q比較

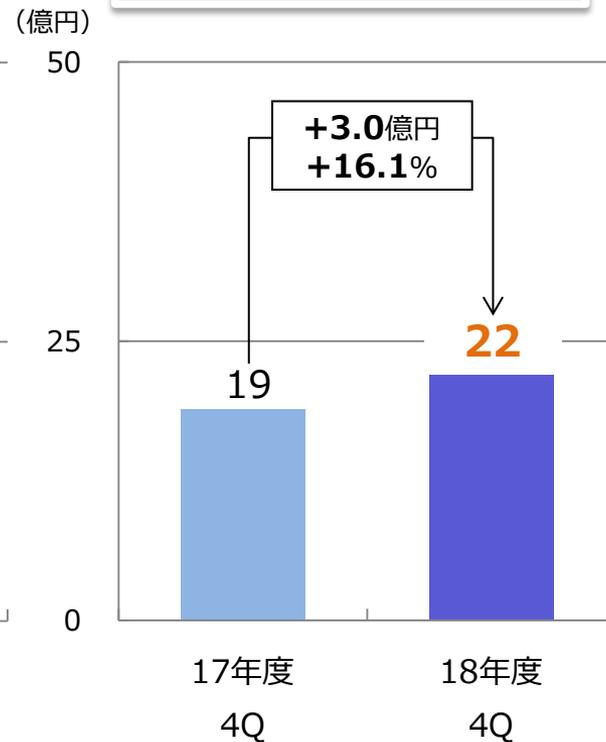
売上高



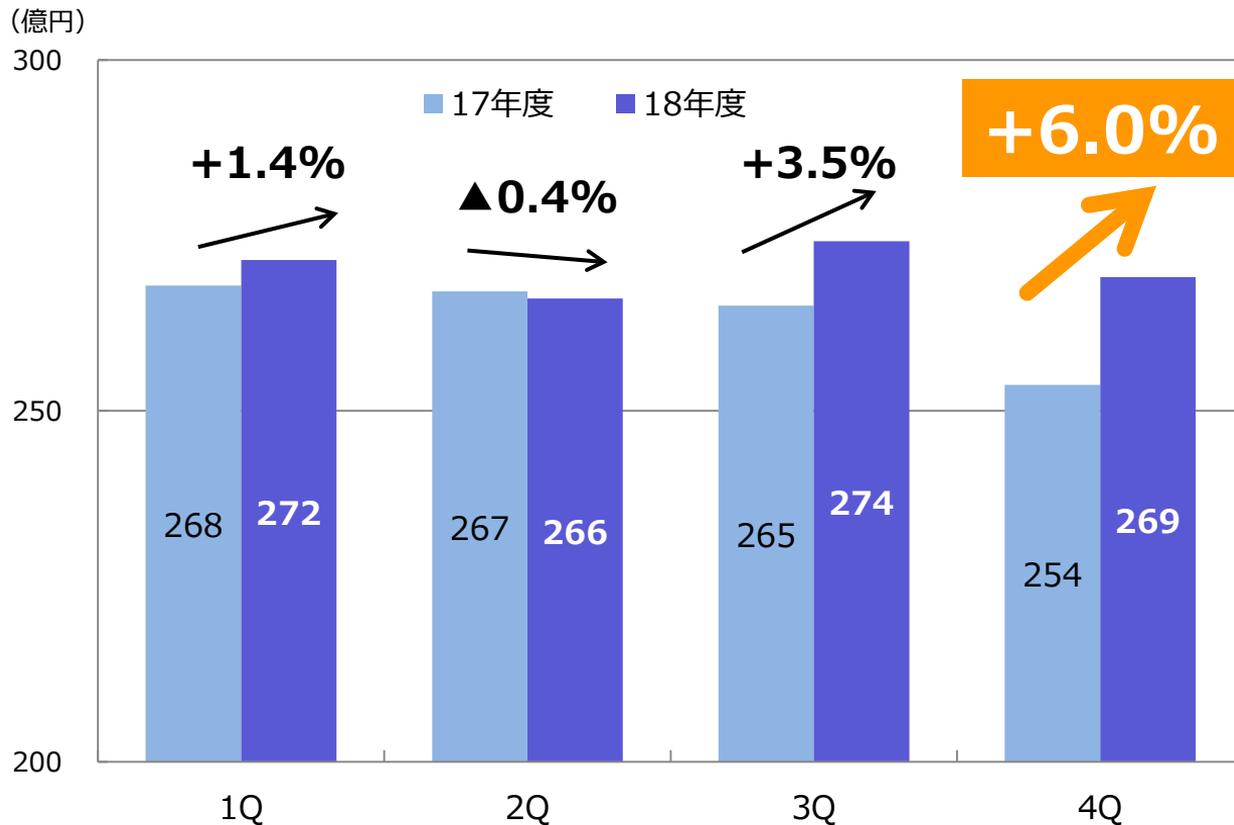
営業利益



EBITDA



CLT事業売上高 四半期毎推移



- 新規顧客の獲得、数量増および遺伝子関連検査等の新規項目による売上が伸長

- 期を追うごとに成長が加速
- 2Qは自然災害の影響で微減

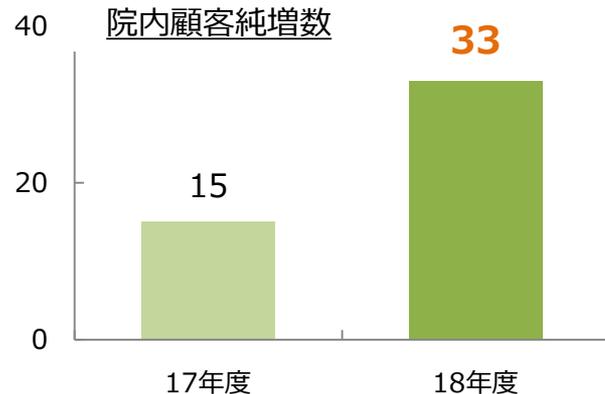
重点施策の進捗

開業医の 獲得

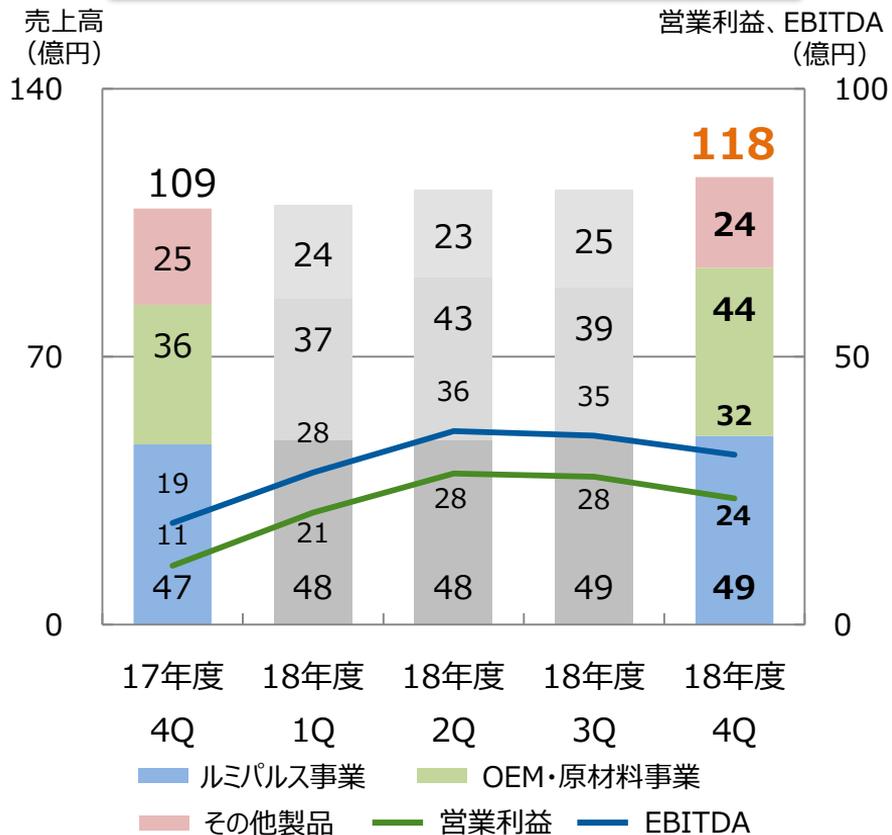
- 開業医の顧客数は増加
 - 付加価値サービスの強化
 - ✓ 首都圏サテライトラボの新設
 - ✓ データ連携・外部サービス連携 等
 - 専属営業組織立ち上げ等による顧客純増数・売上成長率の加速
 - ✓ 516件(2017年度) → 933件(2018年度)
 - ✓ 対前年度比売上成長率
2017年度：+0.7%
2018年度：+2.5%

院内事業 の獲得

- 富士レビオ製品を核とした標準パッケージ提案
- 院内事業顧客の純増数は加速
 - ✓ 件数：15件(2017年度) → 33件(2018年度)
 - ✓ 対前年度比売上成長率
2017年度：+2.5%
2018年度：+3.0%



四半期推移



対前年同期比

(億円)

	17年度	18年度	対前年同期増減	
売上高	453	454	+0.9	+0.2%
ルミパルス	188	195	+6.1	+3.3%
OEM・原材料	155	162	+7.9	+5.1%
その他	110	96	-13.8	-12.5%
営業利益	98	100	+2.0	+2.0%

増収要因

- ルミパルス：国内海外ともに伸長(+3.3%)
- OEM・原材料：19年度からの前倒し等も含め順調に成長

減収要因

- その他製品
- 海外既存製品の終売
 - 欧米市場におけるマニュアル製品の減収等

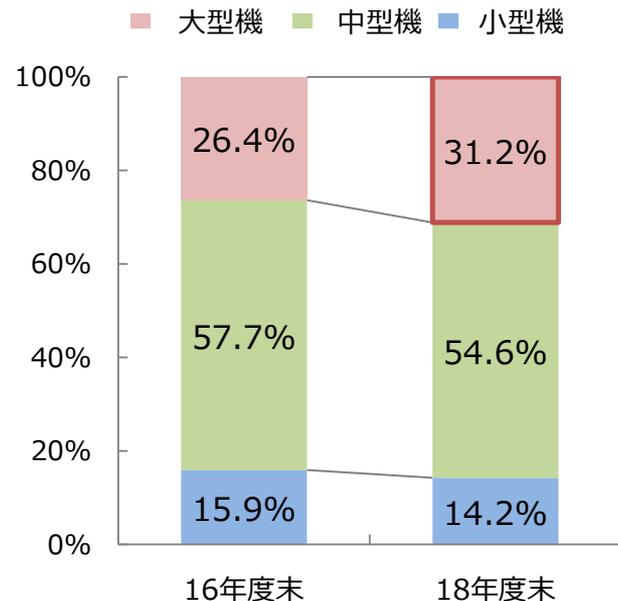
国内 ルミパルス

- 年間設置台数及び純増数（グループ内外含む）
 - ✓ 年間設置台数：147台（2017年度）→ 150台（2018年度）
 - ✓ 機台純増数：30台
- 大型機(L2400)の機器設置に注力
- 市場設置機台比率は中小型から大型へシフト
 - ✓ 2年間で大型機の比率が約4.8%増加

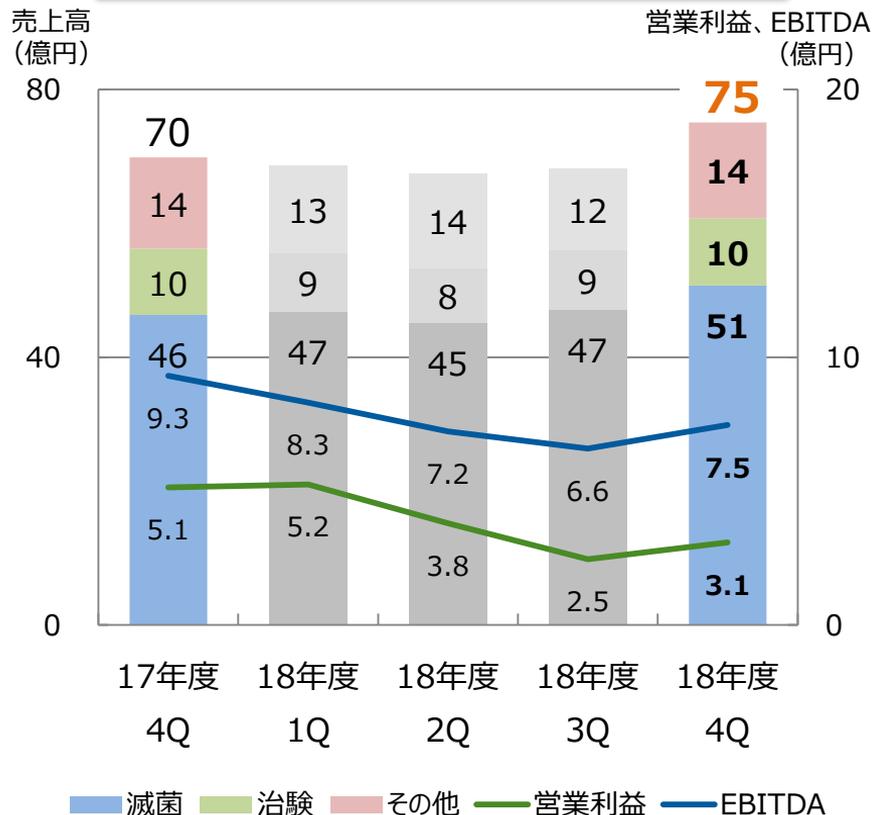
海外 ルミパルス

- 設置台数増に伴う試薬売上高の増加
 - ✓ 年間設置台数
 - アジア：25台（2017年度）→ 48台（2018年度）
 - 欧米：55台（2017年度）→ 87台（2018年度）
 - ✓ 機台純増数
 - アジア：44台
 - 欧米：73台

市場設置機台比率



四半期推移



対前年同期比

	17年度	18年度	対前年同期増減	
売上高	281	279	-2.0	-0.7%
滅菌	184	190	+5.4	+2.9%
治験	42	36	-5.8	-13.8%
その他	55	54	-1.6	-3.0%
営業利益	24	15	-9.9	-40.3%

滅菌：増収

- 既存顧客向け物販による増収

治験：減収

- 治験の検査受託は減収
- あすも臨床の連結除外による減収
対前年比影響額：約2億円

その他：減収

- 地域医療支援センター売却(10月末)による減収
対前年比影響額：約8億円

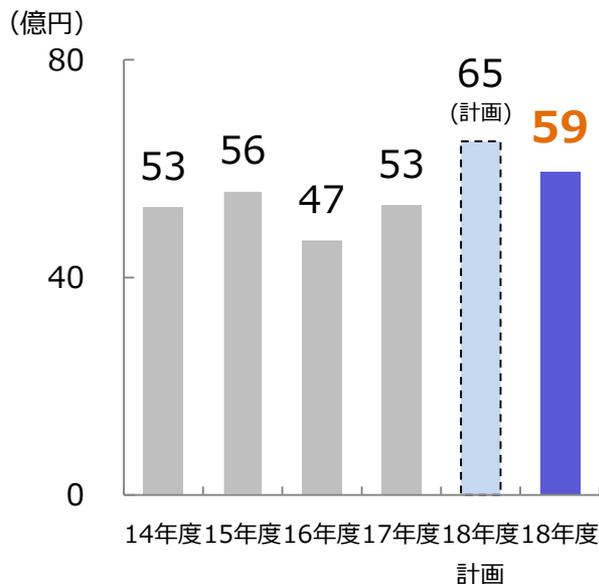
主要KPI

			2018年度	2017年度(参考)	
CLT	院内検査受託施設 純増減数		+33	+15	
	開業医顧客 純増減数		+933	+516	
IVD	ルミパルス	国内 ^{※1}	設置台数	150	147
			純増減数	+30	+1
	海外	設置台数	135	80	
		純増減数	+117	+35	
グループ内取引純増減金額 (億円)			+2.8	+4.0	

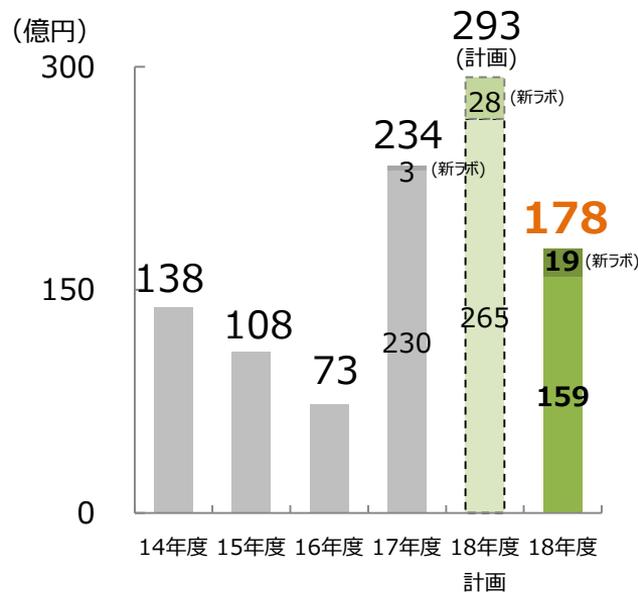
※1 グループ内（国内CLT院内含む）・グループ外設置の総数

R&D、設備投資額、減価償却費 (海外CLTを除く)

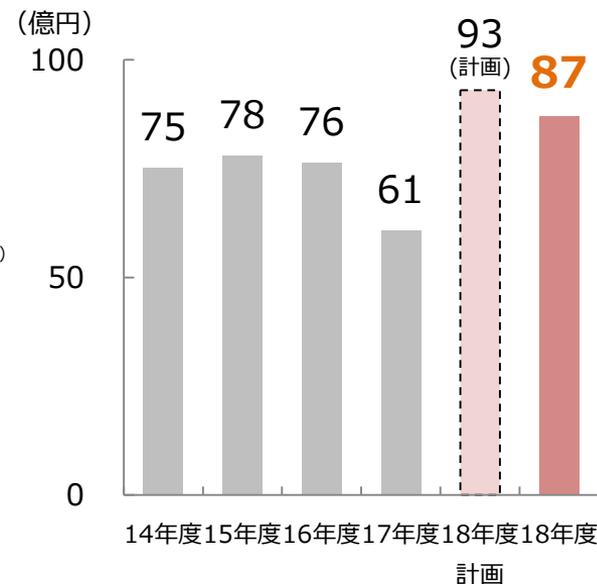
R&D



設備投資額



減価償却費

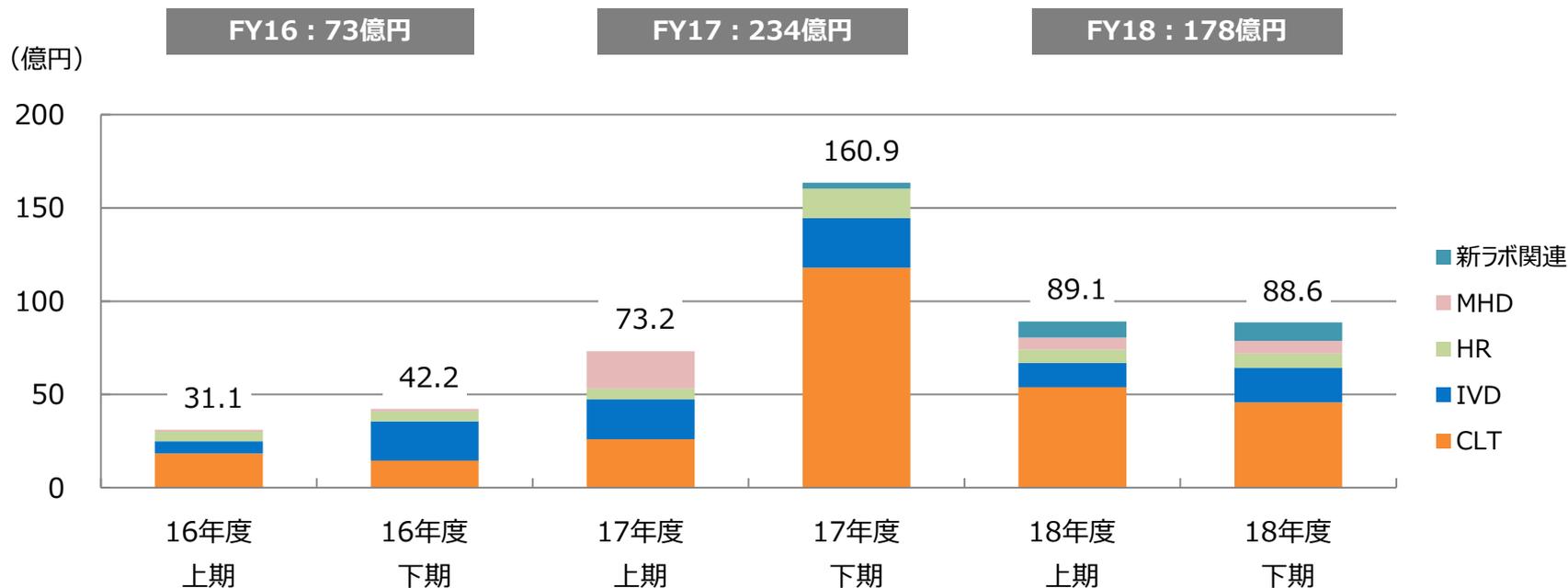


- みらか中研を中心とした基礎研究を強化

- 売上成長及び合理化への寄与度を精査し実行
- 基盤整備の投資は一巡

- 積極的投資に伴う減価償却費の増加

設備投資について (海外CLTを除く)



事業基盤の整備に伴う投資は一巡

- CLT事業の設備更新
- 職場環境整備 等

新セントラルラボに伴う投資は
主に19年度及び20年度に発生

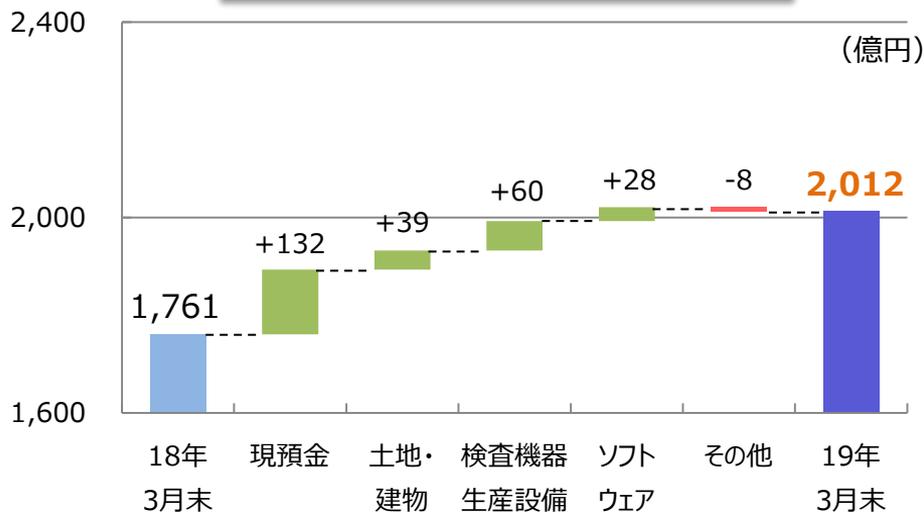
- 投資額：250億円
※土地建物は不動産ファイナンスを活用

連結貸借対照表

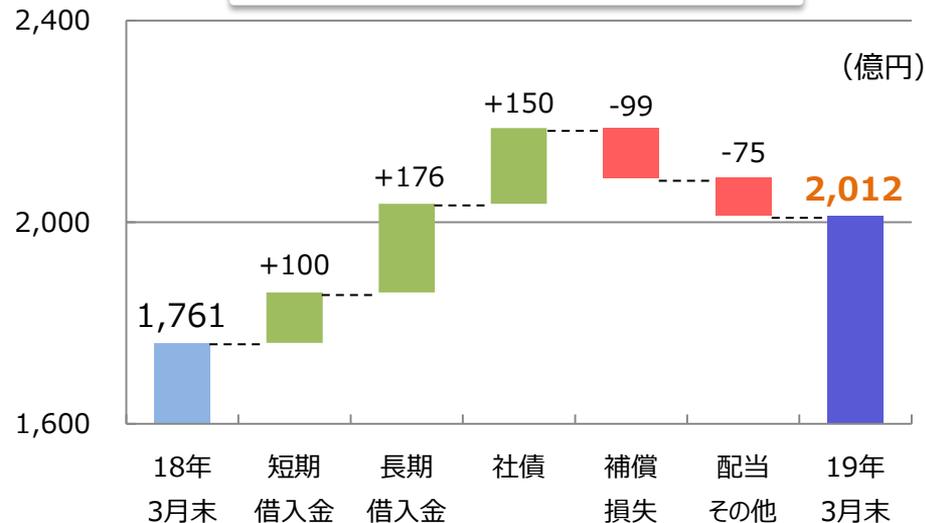
多様な資金調達により投資、施策を実行（借入、社債、不動産ファイナンス等）

- WACCは低下
- 新ラボの土地建物について不動産ファイナンスを活用することで借入余力を確保
- 自己資本比率：64.2%（2018年3月末）→56.0%（2019年3月末）
- ネットデット：132億円（リース債務除く）

資産の部



負債・純資産の部

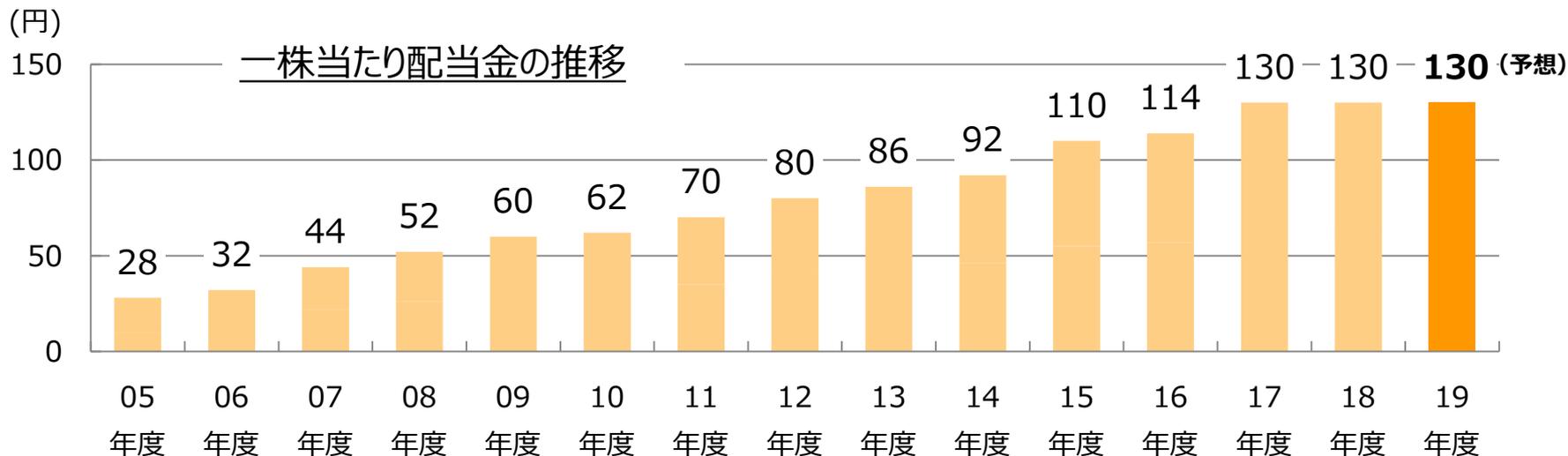


連結キャッシュフロー（海外CLTを含む）

(億円)

	2017年度	2018年度	増減	
税引前当期純利益	-71	114	+185	
減価償却費	78	87	+8	
のれん償却費	18	10	-8	
持分法による投資損益	11	35	+24	BMGLの業績悪化等
CDxHD売却関連	135	-	-135	減損損失、株式売却損、為替換算調整勘定取崩益含む
補償損失引当金の増減額	67	-69	-136	
法人税等の支払額	-70	8	+78	18年度は還付
その他	-11	-22	-11	
営業キャッシュフロー	158	162	+5	前年並み
投資キャッシュフロー	-216	-349	-133	17年度4Qの設備投資への支払が18年度に発生
フリーキャッシュフロー	-58	-187	-129	
財務キャッシュフロー	-96	320	+416	借入、社債によって増加
現金同等物換算差額	3	-1	-4	
増減	-151	132	+283	
現金同等物期末残高	204	337	+132	前年同期より132億円の増加

- ◆ 株主還元基本方針に変更は無し
- ◆ 2019年度は130円の配当を継続
 - 特殊要因を除いた配当性向：2018年度 116%、2019年度 97%（予想）



2019年度計画

2019年度の位置づけ

Transform! 2020 : 次期中計以降の飛躍的・持続的な成長基盤整備

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

みらか
グループ
の統一

制度・カルチャーの統一

- 理念体系・ロゴの刷新
- 人事制度・決裁ルールの統一

基盤整備

- 共通機能（間接部門）集約
- IT基盤の整備・統一
- 人材の確保（採用強化）

社員の意識改革
を継続

施設等の
更新

CLT検査機器の更新
職場環境の改善

事業改善の
投資は一巡

経営課題
の解決

ナビラボPJ
の中止

CDxHD(MLS)の売却
希望退職者の募集

将来の成長に向け
本格的に活動開始

- 新規育成事業
- 成長目的の投資
を加速

中期計画と2019年度計画に関して

◆ 中期計画が大幅未達となる

(億円)

	中期計画数値目標※1	2019年度計画数値	差異
売上	2,070	1,910	-160
営業利益	250	145	-105
EBITDA	380	265	-115
ROE	10%以上	6.8%	-
ROIC	8%以上	5.2%	-

売上

- 想定以上の価格下落 (CLT)
- 新規顧客獲得未達及びそれに伴う売上発現の未達 (CLT、IVD)

利益

- 売上高未達による利益未達 (CLT、IVD)
- 合理化施策の遅延 (CLT)
- アジア展開のための先行投資 (CLT)
- OEM事業強化のための先行投資 (IVD)

既存事業の
更なる強化

中期計画の基本方針を継続

- 売上成長を目的とした諸施策の加速
- 業務効率の改善を推進

新セントラルラボの建設

増収を加速

将来成長に向けた
先行投資

中国市場への先行投資
食品・環境・化粧品検査領域への再参入

飛躍的・
持続的な
成長基盤
を構築

ビジネス開発

MHDに新規事業推進組織を設置
グループ横断で新規事業の立ち上げを加速

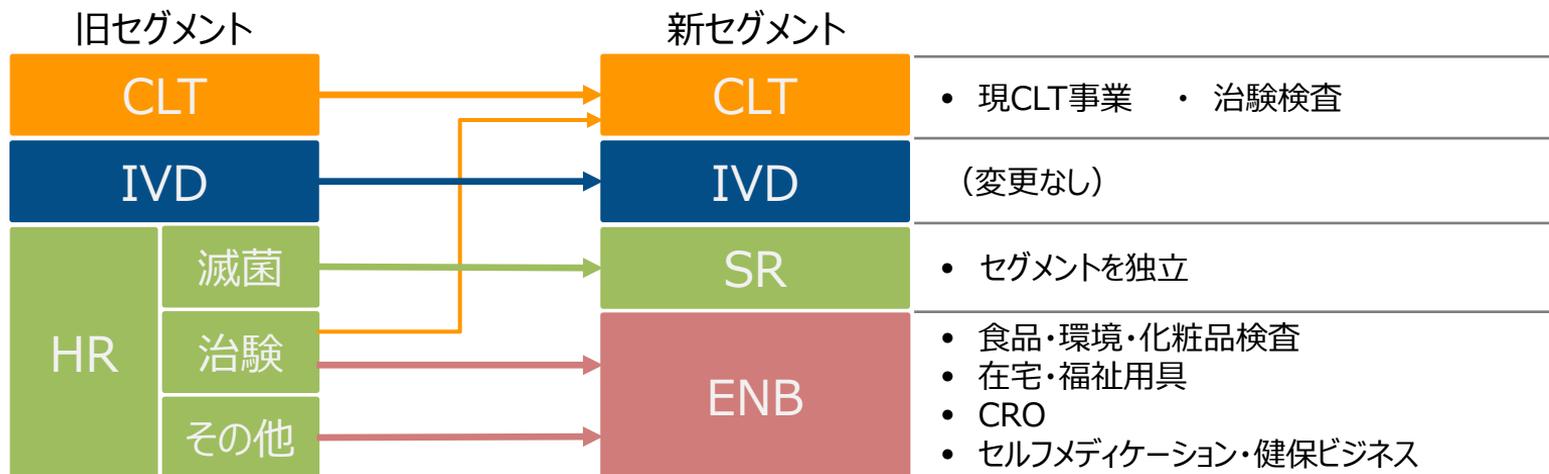
今後の事業展開



セグメント変更について（2019年度1Qより）

変更のポイント

- 新規育成事業（ENB^{※1}）を新設
- 滅菌事業を独立した単一セグメント（滅菌関連事業：SR^{※2}）へ変更
- CRO^{※3}事業を除く治験事業をCLT事業へ移管
- CRO事業は、新規育成事業に移管



2019年度計画 CLT事業

売上

新規

開業医

- ITを活用した付加価値サービスの提供
- 外部サービス連携強化
- 顧客サービス向上のための地域拠点の拡充

院内

- 富士レビオとの共同提案を継続

健診

- 企業健保との接点を活用した顧客基盤の拡大

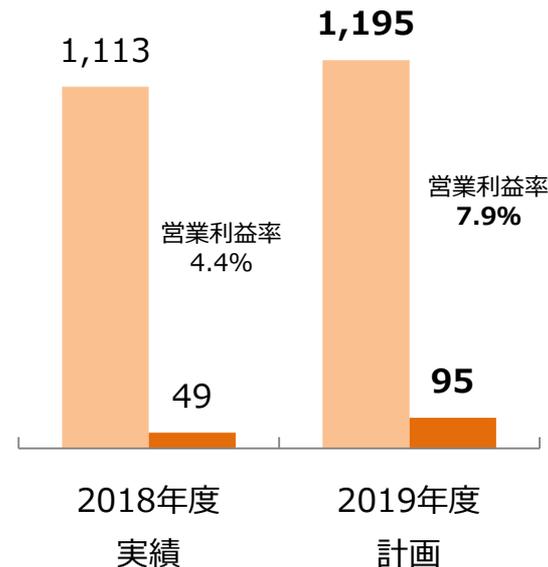
既存

- 価格下落影響：▲1.5%を想定
- 遺伝子関連検査の拡充
- 新規項目の導入推進
- 既存項目の拡販強化

営業利益

- AI※1/RPA※2活用及び業務の抜本的見直しによる合理化の加速
- 集荷物流機能の分社化（他社との連携を模索）
- 減益要因：アジア展開のための先行投資（▲約7億円）

■ 売上高 ■ 営業利益（億円）



2019年度計画 IVD事業

売上

国内

ルミパルス事業

- 大型機の新規設置を継続
- 新規項目開発の加速
- 日赤事業の契約終了等：▲約40億

海外

ルミパルス事業

- アジアを中心とした販売体制の強化
- 平安グループとのJVを通じた中国市場での拡大

OEM・原材料事業

- 新規パートナーの拡充による事業の拡大

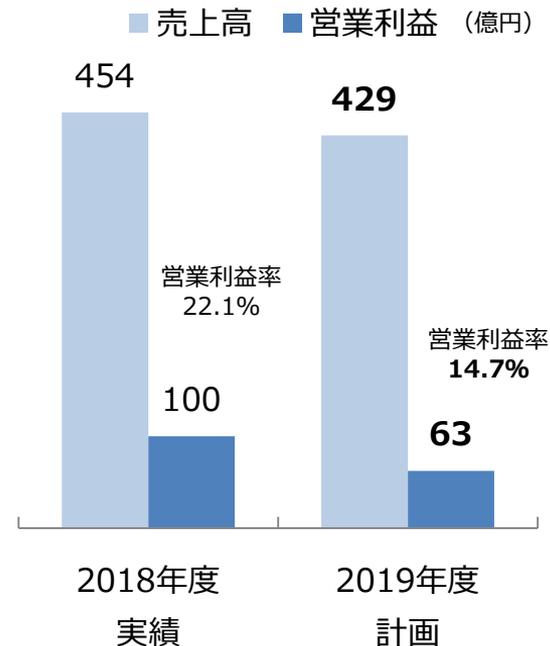
営業利益

増益要因

- 国内ルミパルス事業の増収に伴う増益

減益要因

- 日赤事業の契約終了及び大口顧客獲得への先行投資等による国内事業の減益：▲約30億円
 - 日赤事業関連の人員は国内事業及び薬事強化のための配置転換で吸収
- 欧米子会社におけるOEM事業の強化：▲約7億円
 - 人員増強、設備投資等インフラ強化



2019年度計画 SR（滅菌関連）事業

売上

全面受託化を推進

- 脱「人を配置した役務提供サービス」

中央材料室の機能全てを提供

- 当社として人員の適正化と売上拡大を図るとともに、顧客側にコストメリットを提供

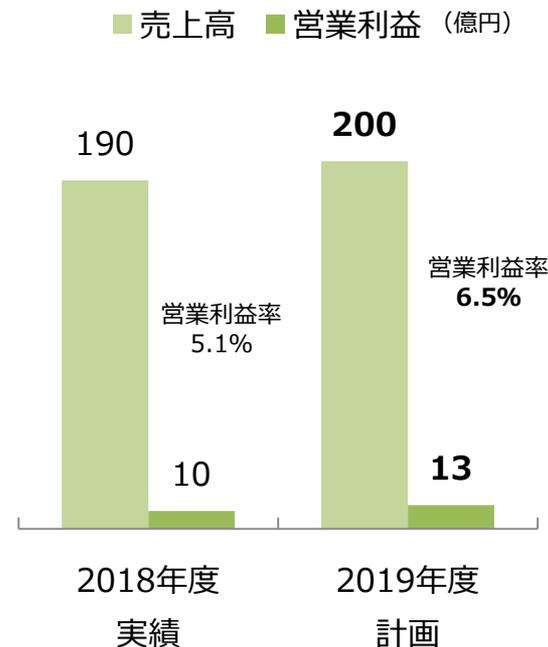
営業利益

損益改善

- センター運用の抜本の見直し

収益性改善のための投資実行

- 業務効率改善
- 院外施設の新設



2019年度計画 ENB（新規育成）事業

食品・環境・ 化粧品検査

6月より営業開始予定

- 過去の人員とノウハウ活用及びグループ会社（㈱日本食品エコージエ研究所）との連携による垂直立ち上げ

在宅・ 福祉用具

訪問看護事業の面展開の加速

- 新規拠点開設 等

CRO

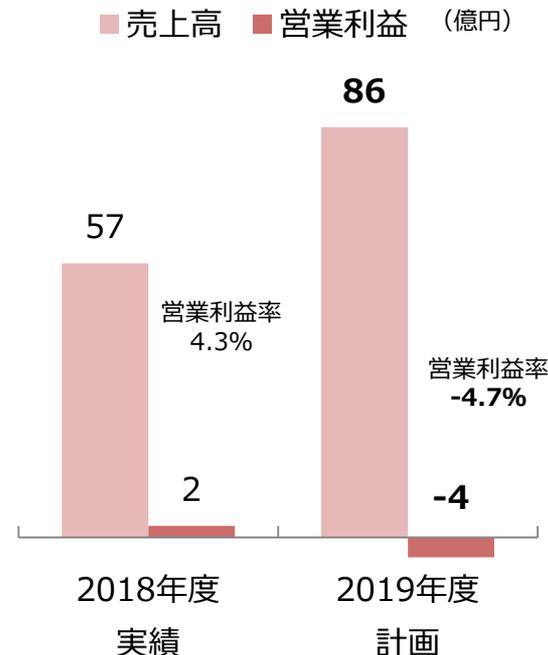
CRO事業強化への組織再編と投資

- 顧客ニーズに応えられる体制の整備

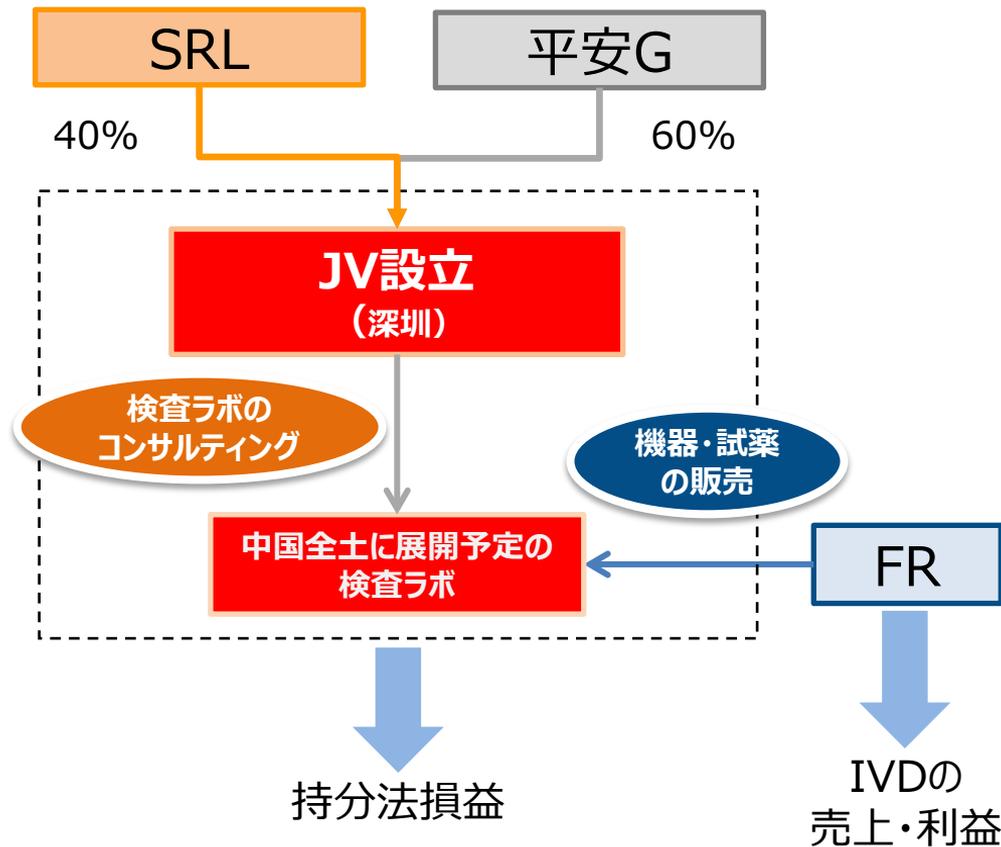
セルフメディ ケーション・ 健保

グループシナジーの追及

- 顧客基盤（企業健保）のグループ内活用



平安グループとの中国でのJV設立に関して



CLT/IVDのグループシナジーによる業績への貢献

- JVの業績は持分法損益へ
- FRの売上・利益は連結業績へ

スケジュール

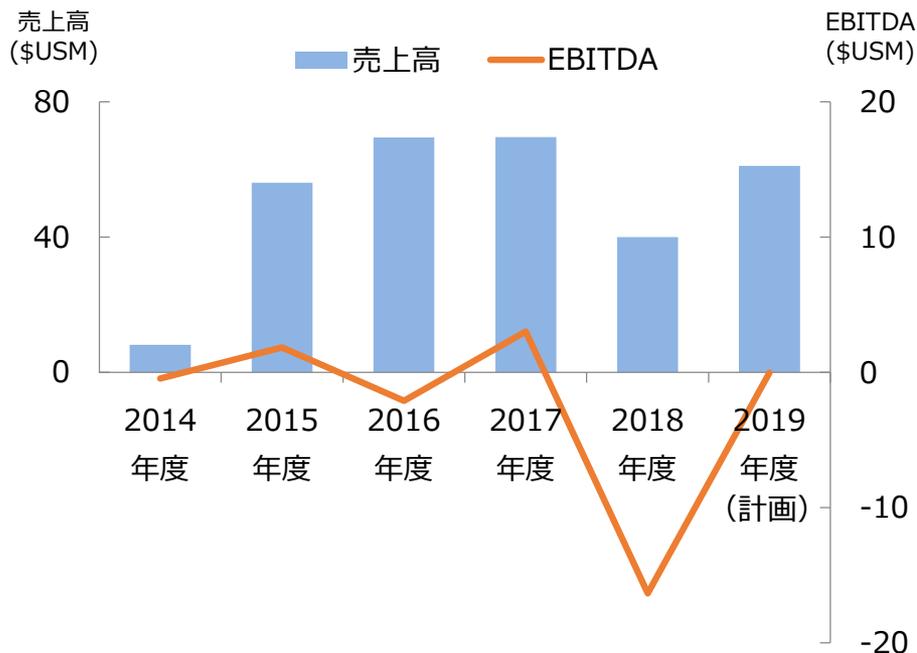
2019年2月	JV設立
2019年2Q	サービス開始予定
⋮	
2022年度	持分利益の黒字化を目指す

BMGLの業績に関して

◆ みらかグループにおけるR&D拠点としての位置付け

業績推移

(のれん及び無形固定資産相当償却前)



- 18年度は大口顧客の喪失により大幅に減収
- 19年度は、チャネルパートナー拡充による売上回復によって単月黒字化を目指す

- BMGL簿価 : \$US 93.0M (19年3月末)
 - 内、無形固定資産相当額 (のれん含む) : \$US 80.7M
- 無形固定資産償却相当額 (のれん含む) : \$US 7.7M/年

2019年度セグメント別通期計画（新セグメント）

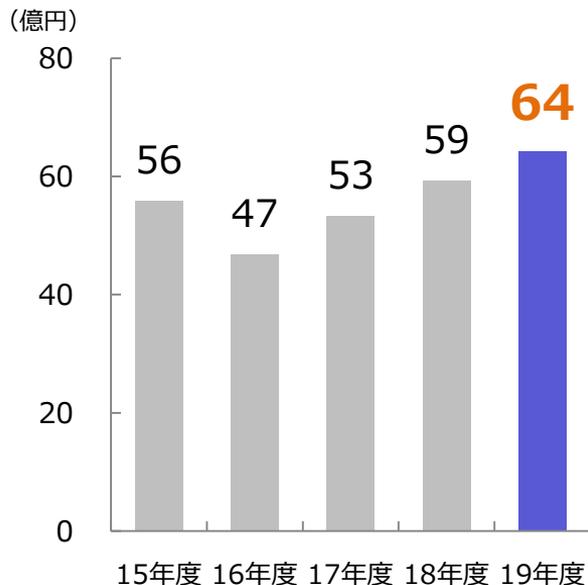
	18年度実績	19年度計画	対前年同期増減	
売上高	1,814	1,910	+95.8	+5.3%
CLT	1,113	1,195	+82.0	+7.4%
IVD	454	429	-25.0	-5.5%
SR	190	200	+10.3	+5.5%
ENB	57	86	+28.5	+49.6%
営業利益	※1 146 8.1%	※1 145 7.6%	-1.5	-1.0%
CLT	49 4.4%	95 7.9%	+46.2	+94.7%
IVD	100 22.1%	63 14.7%	-37.4	-37.2%
SR	10 5.1%	13 6.5%	+3.3	+34.3%
ENB	2 4.3%	-4 -4.7%	-6.5	-
経常利益	115 6.4%	117 6.1%	+1.8	+1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	64 3.5%	76 4.0%	+12.2	+19.1%
EBITDA	244 13.4%	265 13.9%	+21.5	+8.8%
ROE	5.7%	6.8%	+1.1%	-
ROIC	6.3%	5.2%	-1.1%	-

(億円)

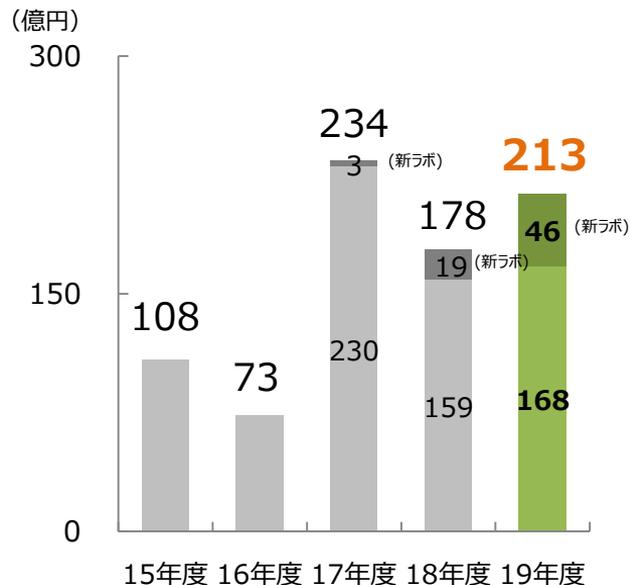
※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（18年度：▲14.8億円、19年度：▲21.2億円）

2019年度計画 (R&D・設備投資額・減価償却費)

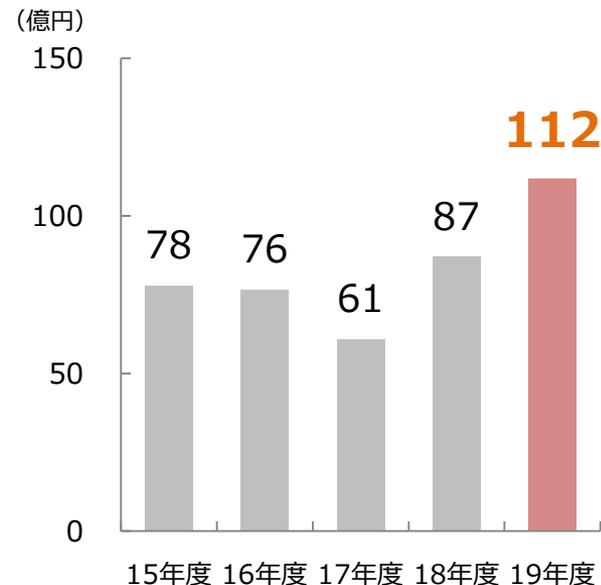
R&D



設備投資額



減価償却費



- 成長のための研究開発の強化を継続

- CLT：売上拡大・効率化・合理化施策への投資（既存設備の更新は収束）
- IVD：OEM関連設備への投資
- 滅菌：院外センター開設
- 新ラボ：19年度より投資が本格化

- 積極的投資に伴い減価償却費は増加

補足資料

2019年度計画 連結計画（上期・下期）

（億円）

	上期計画				下期計画				19年度 ※1 通期計画
		進捗率	対18年度実績増減			進捗率	対18年度実績増減		
売上高	934	49%	+ 37	+4%	976	51%	+ 58	+6%	1,910
営業利益	59	41%	- 11	-16%	86	59%	+ 10	+13%	145 7.6%
経常利益	50	43%	- 8	-14%	67	57%	+ 10	+18%	117 6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	39%	- 15	-33%	46	61%	+ 27	+141%	76 4.0%
EBITDA	116	44%	+ 58	+99%	149	56%	+ 92	+162%	265 13.9%

ROE	6.8%
ROIC	5.2%

※1 青字は、各売上に対する利益率を示す

2019年度セグメント別通期計画（旧セグメント）

	18年度実績	19年度計画	対前年同期増減	
売上高	1,814	1,910	+95.8	+5.3%
CLT	1,081	1,162	+81.2	+7.5%
IVD	454	429	-25.0	-5.5%
HR	279	319	+39.7	+14.2%
営業利益	※1 146 8.1%	※1 145 7.6%	-1.5	-1.0%
CLT	46 4.3%	92 7.9%	+45.6	+98.4%
IVD	100 22.1%	63 14.7%	-37.4	-37.2%
HR	15 5.2%	12 3.8%	-2.6	-17.8%
経常利益	115 6.4%	117 6.1%	+1.8	+1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	64 3.5%	76 4.0%	+12.2	+19.1%
EBITDA	244 13.4%	265 13.9%	+21.5	+8.8%
ROE	5.7%	6.8%	+1.1%	-
ROIC	6.3%	5.2%	-1.1%	-

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（18年度：▲14.8億円、19年度：▲21.2億円）

2018年度累計業績 (17年度は海外CLTを含む)

(億円)

	17年度	18年度	対前年 同期増減	
売上高	1,954	1,814	-139.9	-7.2%
CLT	1,220	1,081	-138.7	-11.4%
IVD	453	454	+0.9	+0.2%
HR	281	279	-2.0	-0.7%
営業利益	※1 176 9.0%	※1 146 8.1%	-30.5	-17.0%
CLT	75 6.2%	46 4.3%	-28.7	-38.2%
IVD	98 21.7%	100 22.1%	+2.0	+2.0%
HR	24 8.7%	15 5.2%	-9.9	-40.3%
EBITDA	273 14.0%	244 13.4%	-29.3	-10.8%

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む(17年度：▲21.5億、18年度：▲14.8億円)

2018年度累計業績 (17年度は海外CLTを除く)

(億円)

	17年度	18年度	対前年 同期増減	
売上高	1,788	1,814	+26.1	+1.5%
CLT	1,054	1,081	+27.2	+2.6%
IVD	453	454	+0.9	+0.2%
HR	281	279	-2.0	-0.7%
営業利益	※1 186 10.4%	※1 146 8.1%	-38.8	-20.9%
CLT	84 8.0%	46 4.3%	-37.5	-44.4%
IVD	98 21.7%	100 22.1%	+2.0	+2.0%
HR	24 8.7%	15 5.2%	-9.9	-40.3%
EBITDA	257 14.4%	244 13.4%	-13.1	-5.1%

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む(17年度：▲21.5億、18年度：▲14.8億円)

セグメント別情報（CLT）

		17年度	18年度	対前年同期増減	
受託臨床検査事業		1,220	1,081	- 138.7	-11.4%
国内		1,054	1,081	+ 27.2	+2.6%
	院内	191	196	+ 5.7	+3.0%
	院外	863	885	+ 21.5	+2.5%
海外		166	-	- 165.9	-100.0%

セグメント別情報 (IVD)

	17年度	18年度	対前年同期増減	
臨床検査薬事業 (製品別)	453	454	+ 0.9	+0.2%
製品	299	291	- 7.6	-2.6%
LP	188	195	+ 6.1	+3.3%
LP以外	69	60	- 9.3	-13.4%
EL、POCT	11	9	- 2.4	-20.8%
その他	29	27	- 2.1	-7.2%
OEM、原材料	155	162	+ 7.9	+5.1%

	17年度	18年度	対前年同期増減	
臨床検査薬事業 (地域別)	453	454	+ 0.9	+0.2%
海外	237	241	+ 3.7	+1.6%
北米	119	120	+ 0.5	+0.4%
欧州	92	97	+ 4.1	+4.4%
アジア・パシフィック (日本除く)	26	25	- 0.8	-3.2%
国内	216	213	- 2.8	-1.3%

研究開発費、設備投資額、減価償却費（海外CLTを除く）

	17年度	18年度	対前年同期増減	
研究開発費	5,326	5,937	+611	+11.5%
CLT	212	320	+108	+50.6%
IVD	4,740	4,845	+105	+2.2%
HR	-	-	-	-
MHD等	373	771	+398	+106.6%
設備投資額	23,413	17,768	-5,645	-24.1%
CLT	14,580	11,577	-3,003	-20.6%
IVD	4,801	3,146	-1,655	-34.5%
HR	2,162	1,449	-713	-33.0%
MHD等	1,868	1,594	-274	-14.7%
減価償却費	6,081	8,692	+2,610	+42.9%
CLT	2,327	4,327	+2,000	+86.0%
IVD	2,320	2,598	+279	+12.0%
HR	1,234	1,272	+38	+3.1%
MHD等	200	493	+293	+146.5%

(百万円)

従業員数

	18年 9月末		19年 3月末		18年9月末からの増減	
	従業員	臨時 雇用者	従業員	臨時 雇用者	従業員	臨時 雇用者
総従業員数	5,972	6,543	5,957	6,452	-15	- 91
CLT	2,937	3,150	2,906	3,113	-31	- 37
IVD	1,093	123	1,116	121	+23	- 2
HR	1,545	3,246	1,565	3,193	+20	- 53
滅菌	1,214	3,168	1,181	3,118	-33	- 50
治験	156	3	150	3	-6	±0
その他	175	75	234	72	+59	- 3
MHD等	397	24	370	25	-27	+ 1

※ IVDの人員数は、Fujirebio India Pvt. Ltd. 及びFujirebio Asia Pacific Pte.Ltdを除く

【連絡先】

みらかホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR部 TEL : 03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。